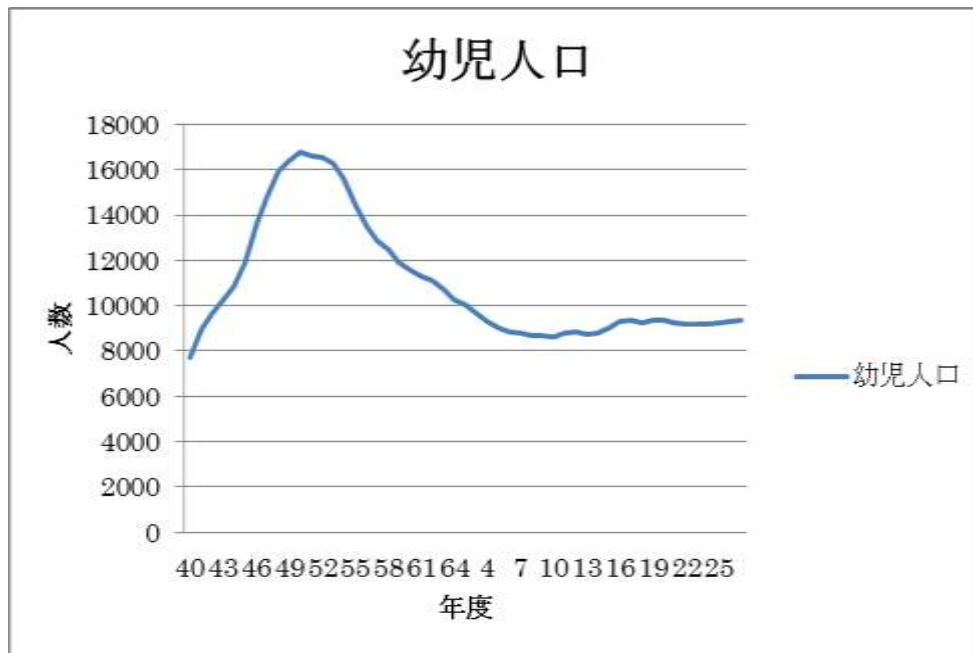


市立幼稚園に対する取り組み状況について

1. 市立幼稚園の歴史

昭和40年代の幼児人口の急増期、私立幼稚園の収容人数を超えた幼児を受け入れるために私立幼稚園の補完的役割として市立幼稚園は設置されてきました。幼児人口は昭和50年の16,781人をピークに減少に転じ、平成9年にはピーク時の半数程度の8,672人となり、市立、私立幼稚園の双方が定員割れとなっていました。教育委員会はこの状況を改善するため、平成14年に第五、第六幼稚園を統合、平成17年に第一、第七幼稚園を統合しました。近年、日野市の幼児人口は9,200~9,300人程度の横ばい状態ですが、保育園等のニーズが増加したため、幼稚園では定員割れの状況が拡大し、保育園等では待機児が大きな課題となっております。市内幼稚園の定員割れの状況を改善するとともに、幼稚園跡地を保育園等の施設に活用することによって待機児解消を図るため、平成29年に第三幼稚園と第四幼稚園を統合します。

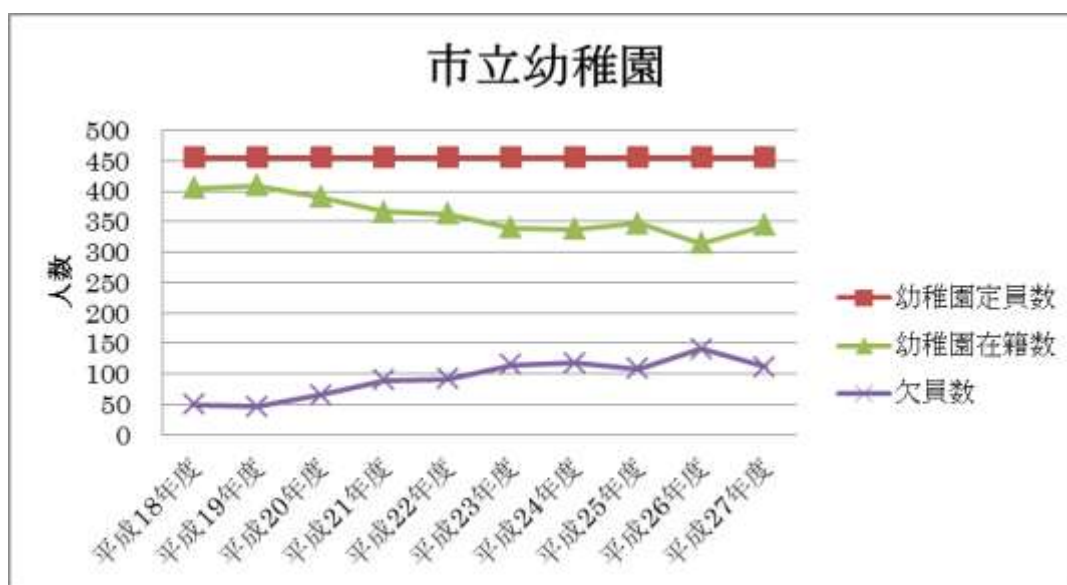


裏面あり

2. 市立幼稚園の園児数

市立幼稚園の園児数は減少傾向となっているが、平成 27 年度については園児数が増加した。

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
幼稚園数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
幼稚園定員数	455	455	455	455	455	455	455	455	455	455
幼稚園在籍数	405	409	390	366	363	340	337	347	314	344
欠員数	50	46	65	89	92	115	118	108	141	111



※第三幼稚園と第四幼稚園の統合により平成 29 年度から4園になります。